

平成22年度

わかりやすい かさまの予算

～みんなで創る 文化交流都市～



はじめに

平成18年の3市町合併から平成22年度で5年目を迎えようとしています。笠間市では、新しいまちづくりの指針として策定した「笠間市総合計画」に基づき「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」～みんなで創る 文化交流都市～の実現に向けて各種施策を展開しております。

平成22年度においては、重点施策として位置づけている少子化対策「かさまっ子プロジェクト」、農業施策「クラフト農業プロジェクト」に加え、新たに医療・福祉の分野において「すこやか安心プロジェクト」と銘打ち、市立病院における日曜日および平日夜間救急診療の実施や対象者を小学6年生まで拡大した医療費自己負担助成（マル福）事業等を実施いたします。これらを含む29の事業を重要事務事業として位置づけ、重点的かつ効率的に事業を推進するための予算を編成いたしました。

市民のみなさまから納めていただいた税金などが、どのように使われるのかをお知らせするため、今年も「わかりやすいかさまの予算」を作成いたしました。

これからも「開かれた市政、情報公開」を理念に、信頼できる行政をめざしてまいりますので、今後とも、市政へのご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

平成22年4月

笠間市長

目 次

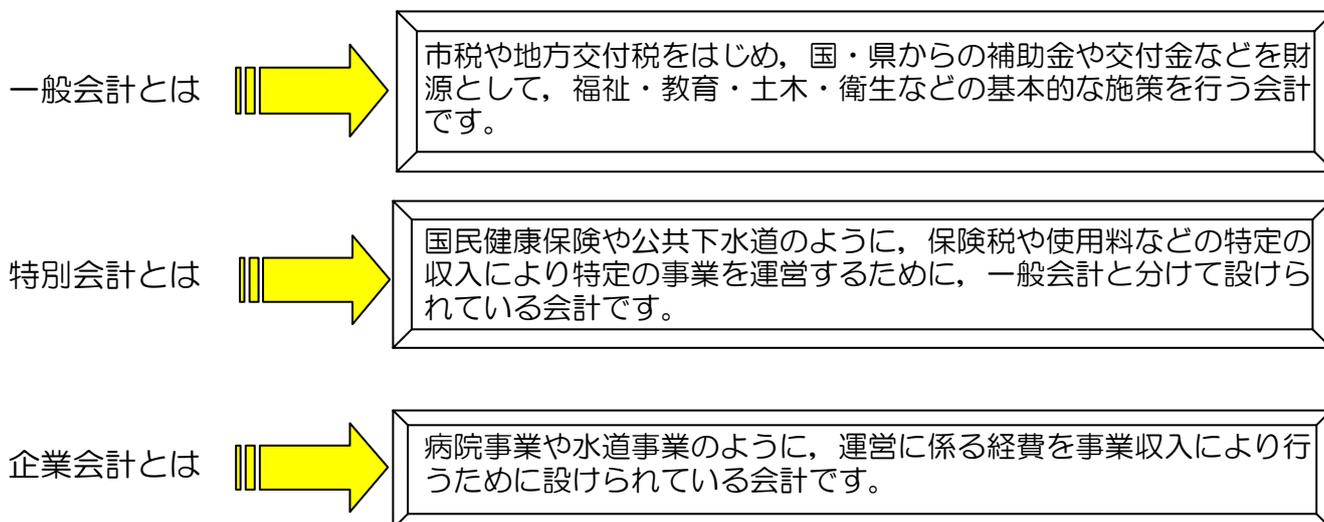
I 各会計の予算額	1
II 一般会計予算を家計にたとえると	2
III 主な事業の説明	4
1. 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり	4
2. 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり	6
3. 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり	9
4. 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり	12
5. 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり	14
6. 人と地域、絆を大切にした元気なまちづくり	16
IV 参 考 資 料	17
1. 一 般 会 計	17
2. 特 別 会 計	19
3. 企 業 会 計	22
4. 市債の状況	23
5. 基金の状況	25
6. 財政関連の数値	27

I 各会計の予算額

(単位：千円，%)

会 計 名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	対前年度比率
一 般 会 計	26,540,000	26,602,000	▲ 62,000	▲ 0.2
国民健康保険特別会計	7,913,700	8,050,400	▲ 136,700	▲ 1.7
老人保健特別会計	7,600	35,900	▲ 28,300	▲ 78.8
後期高齢者医療特別会計	638,000	614,900	23,100	3.8
介護保険特別会計	4,454,000	4,138,600	315,400	7.6
介護サービス事業特別会計	27,400	26,700	700	2.6
公共下水道事業特別会計	2,523,200	3,899,700	▲ 1,376,500	▲ 35.3
農業集落排水事業特別会計	875,100	640,600	234,500	36.6
岩間駅東土地区画 整理事業特別会計	119,800	15,000	104,800	698.7
市立病院事業会計	545,900	487,477	58,423	12.0
水道事業会計*	2,429,200	2,824,275	▲ 395,075	▲ 14.0
工業用水道事業会計	31,900	34,900	▲ 3,000	▲ 8.6
合 計	46,105,800	47,370,452	▲ 1,264,652	▲ 2.7

* 「笠間水道事業会計」，「友部水道事業会計」及び「岩間水道事業会計」の3つの水道事業会計を「水道事業会計」に統合しましたので，比較のため前年度予算額は3事業会計の合計額と致しました。



Ⅱ 一般会計予算を家計にたとえると

◎1年間に必要な生活費を500万円としてみると

収 入				
一般会計予算（年額）		家計にたとえた場合（年額）		前年比
市 税	90億6,641万円	給 料	171万円	▲2万円
負 担 金 使 用 料 など	15億6,525万円	パ ー ト 収 入	30万円	-
地 方 交 付 税 地 方 譲 与 税 各 種 交 付 金	73億4,697万円	親からの仕送り	138万円	11万円
国・県支出金	56億7,737万円	親から特別に もらう仕送り	107万円	23万円
市 債	27億8,280万円	ローンの借り入れ	52万円	▲16万円
繰 入 金	1億 120万円	定期預金の取崩し	2万円	▲16万円
合 計	265億4,000万円	合 計	500万円	-

資産の状況				
市債残高	267億 494万円	ローン残高	503万円	17万円
基金残高	74億1,186万円	預貯金	140万円	3万円

ちなみに、一般会計の予算を市民一人あたりに換算すると、年額約33万円になります。

おもな内訳は、福祉などの民生費が約10万円、道路整備や公共下水道整備促進助成などに使われる土木費が約5万円、小学校や中学校、幼稚園などに使われる教育費が約4万円、ローンの返済である公債費が約3万円となっています。



平成22年2月28日 住基人口 80,440人

「よさん」って
何だか、よく分か
らないよ。



計画的にお金を使うために、
あらかじめ使い道を考えて、
計算しておくのよ。

支 出				
一般会計予算（年額）		家計にたまた場合（年額）		前年比
人件費	61億5,031万円	食費	116万円	2万円
物件費など	41億6,883万円	電気料，ガス料 水道料，電話料	79万円	9万円
投資的経費 維持補修費	32億9,941万円	自宅の増改築や 家財道具購入など	62万円	▲29万円
扶助費	47億8,780万円	家族の医療費や 保険料など	90万円	20万円
補助費等	21億3,157万円	子どもの小遣い・ 授業料，自治会費	40万円	▲4万円
公債費	27億3,882万円	ローンの返済	52万円	1万円
積立金 貸付金など	2億1,337万円	預貯金の積立て	4万円	-
繰出金	30億4,989万円	子どもへの仕送り	57万円	1万円
合計	265億4,000万円	合計	500万円	-

1年間の生活費500万円をまかなうのに、給料とパート収入（合計201万円）に、親からの仕送り（245万円）を加えてもなお不足する額54万円のうち、52万円をローンの借入れ、2万円を預貯金の取崩しで対応しています。

昨年と比べて給料とパート収入が合計2万円ほど減り、家族の医療費などが20万円増えましたが、親からの仕送りが増えたことと、家の増築工事が一段落したことや子ども達の小遣いが減ったので、新しいローンの借入と定期預金の取り崩しを少なくすることが出来ました。

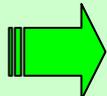


Ⅲ 主な事業の説明

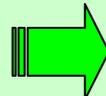
笠間市総合計画

「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」～みんなで創る **文化交流都市**～

基本構想
(6つの柱)



基本計画
実施計画



重要事務事業
(29事業)



平成22年3月に完成した友部駅南口広場

広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり

【土地利用・都市基盤】

岩間駅周辺整備事業

1,485,512千円



岩間駅 イメージ図

岩間駅自由通路と橋上駅舎の工事を始めるとともに、都市計画道路岩間駅東大通り線、日吉町古市線の事業区間の早期完成をめざします。

また、岩間駅東土地区画整理事業については、今年度より本格的に事業を実施します。



幹線道路整備事業



市道（友）1級3号線（滝川地内）

南友部平町線整備事業	90,000千円
上町大沢線整備事業	99,318千円
笠間小原線整備事業	29,788千円

新市の交通利便性を高めるため、9路線を国からの補助金や合併特例債を活用し、早期完成をめざします。

今年度は、市道（友）1級8号線（鯉淵地内）が完成する予定です。

デマンド交通システム運行事業 70,241千円

利用者の乗り合いにより、希望する場所から目的地までの送迎を基本とする「デマンドタクシーかさま」の運行を継続し、さらなる利便性の向上や地域の活性化を図ります。



光ファイバー網推進事業 11,000千円（H21年度 整備事業費 約650,000千円）

※ 整備事業については H22 年度に繰越し実施します。（H23年3月完成予定）



光ファイバーによる通信サービス未整備地域に光ファイバー網を整備し、電気通信事業者との契約により、光通信サービスを提供し、高度情報化に対応した環境整備を推進します。

地域資源活用事業

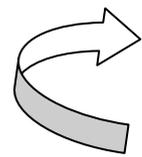
観光戦略事業	3,009千円
地場産業支援事業	6,913千円



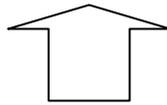
笠間の知名度アップと新規観光客の拡大を図るため、観光PRの実施と観光客受け入れ体制の充実を図り、通年滞在型の観光振興を推進します。

また、笠間焼・稲田みかげ石への支援として、他産業との連携や新商品開発・イベントを利用したPRを実施します。

クラフト農業プロジェクト



経営安定化農業



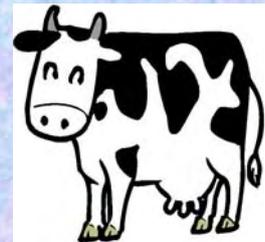
環境保全型農業



グリーンツーリズム



クラフト農業プロジェクトとして、経営安定化農業・環境保全型農業・グリーンツーリズムを柱とし各種事業を実施します。



経営安定化事業

担い手対策強化促進事業	4,116千円	拡充
主要農産物生産振興支援事業	3,340千円	
地場農産物PR事業	1,406千円	
水田利活用支援事業	50,000千円	

農業経営の安定化を図るため、地場農産物のPRやブランド化、担い手対策などの事業を推進します。

各種事業の相乗効果により効率的に農業経営の安定化を図ります。



環境保全型農業

土づくり運動推進事業

317千円



農業生産の基礎となる「豊かな土づくり」を推進していくとともに環境に配慮した農業を推進していきます。

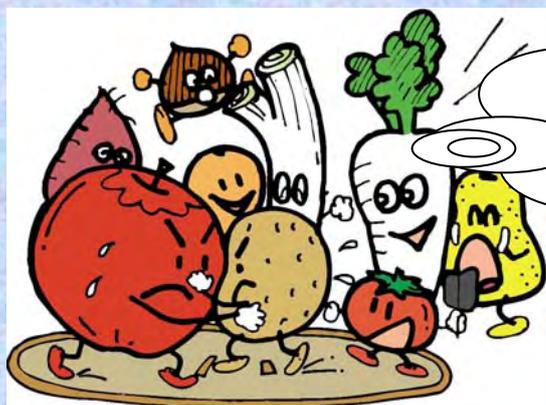
また消費者の安心を確保するための安全・安心システムの構築をめざします。

グリーンツーリズム

二地域居住者活動支援事業
体験農業支援事業
農作業支援モデル事業

112千円
778千円
255千円

笠間市農林業推進計画に基づき、都市生活者と地域生活者の交流促進により地域活性化を図るため、本市が有する豊かな農林資源を活用したグリーンツーリズムを推進します。



クラフト農業プロジェクトは
笠間市の重点施策なんだって！

市街地活性化事業 22,913千円

笠間稲荷門前通り整備 17,117千円含む 新規



市街地の商業活性化に向けた取り組みとして、商業と地場産業の連携によるブランド化や各地区市街地に存在する空き店舗の活用など、活気に満ち溢れた商店街づくりを図ります。

また、持続的な観光拠点として、笠間稲荷門前通りの景観に配慮した整備を推進します。

企業誘致及び支援事業 4,483千円



既存工業団地への企業誘致として、新規進出企業へのPR活動や誘致アンケート、フォローアップを推進します。

また、企業が行う従業員の働きやすい環境づくりを目的に行う、福利厚生・設備投資に対し支援します。

雇用対策事業 122,463千円

職業能力アップ支援 2,000千円
 小企業緊急雇用安定支援 7,500千円
 緊急雇用創出事業 87,273千円
 ふるさと雇用再生特別基金事業 25,690千円

新規



雇用情勢の悪化に対する対応として、雇用機会の創出、非正規労働者・中高年齢等失業者に対する雇用・就業機会の確保として各事業を実施し、市民生活の安定化及び地域経済の活性化を図ります。

すこやか安心プロジェクト

市立病院休日夜間救急診療の実施
筑波大学病院連携事業

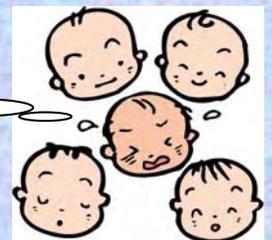
医療費自己負担助成事業

高齢者人間ドック助成事業

新規重点施策の
すこやか安心プロジェクトだよ！

市立病院 休日・夜間救急診療の実施 55,166千円
筑波大学病院連携事業（指導医・研修生受入）

新規



改修が進む市立病院

救急医療体制の充実強化をめざして、市内医療機関の連携により4月から市立病院において、日曜日と平日夜間に救急診療を実施し市民が安心して暮らせる地域社会づくりを推進します。

また、筑波大学付属病院との連携により、地域医療に従事する医師の養成と地域医療の充実を図ります。

医療費自己負担助成事業（小6まで拡大） 49,000千円

拡充

10月から県事業で実施する医療費自己負担助成（マル福）対象者の小学3年生までの拡大にあわせ、市単独の上乗せ助成を行い、小学6年生まで拡大をします。

高齢者人間ドック助成事業 2,500千円

新規

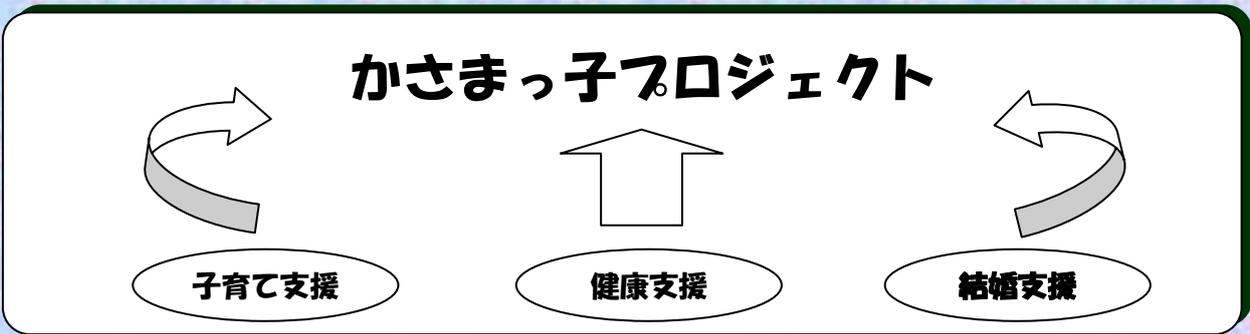


75歳以上の方が健康的な生活を送れるよう、年1回の基本健康診査を実施しておりますが、今年度からは、多くの検診項目が受診できる人間ドック健診の助成を新たに実施します。

障害者地域生活支援事業 77,353千円



障害をお持ちの方がそれぞれの地域で自立した日常生活や社会生活が送れるよう、地域の特徴を生かしたサービス体制をつくり、さまざまな支援やサービスの充実を図ります。



平成22年度重点施策
かさまっ子プロジェクト
だよ～

子育て支援

ファミリーサポート事業(育児援助事業)	2,606千円	新規 拡充
児童クラブ事業(預かり時間延長)	121,922千円	
不妊治療費助成事業	3,000千円	



新たにファミリーサポートセンター事業を実施し、提供会員（育児援助者）と利用会員（援助希望者）が構成する組織により、会員相互による援助活動を支援します。

また、児童クラブの預かり時間の延長や不妊治療費の助成の拡大を行います。

健康支援

「かさま健康ダイヤル24」事業

5,540千円



「かさま健康ダイヤル 24」は 24 時間・年中無休の電話による相談サービスです。健康・医療・介護・育児などの相談に対して、医師や専門スタッフが対応します。

結婚支援

出会い創出支援事業

438千円

市内団体が実施する出会い創出事業に対し、助成（限度額10万円）を行います。
また、「いばらき出会いサポートセンター」の入会に対する助成を行います。



狭あい道路整備事業 73,505千円



国の補助事業を有効に活用し、道路幅4m未満のせまい道路の拡幅を行います。



生活排水対策事業 1,380,257千円

公共下水道及び農業集落排水の整備を推進します。また、県の森林湖沼環境税の導入に伴い、環境保全へ向けて下水道・農業集落排水への接続、合併処理浄化槽の設置を推進します。



高野前橋汚水中継ポンプ所完成予想図

民間救急ボランティア応急手当普及啓発活動事業 44千円

新規



応急手当の大切さを普及するために、民間救急ボランティア応急手当普及員を育成します。

また、救命率の向上を図るため、市民の方を対象にAEDの取扱いを含む救命講習会を開催します。

木造住宅耐震診断事業 1,600千円

地震による建築物の倒壊等の被害から、市民の生命と財産を守るため、昭和56年以前に建てられた木造住宅を対象とした、木造住宅耐震診断事業を行います。



防犯灯整備事業 5,200千円



夜間における犯罪防止や、市民の安全確保対策の一環として通学路等に省エネタイプの防犯灯を設置します。

地球温暖化対策事業

太陽光発電・エコキュート助成事業 13,500千円

新規

電気自動車導入（リース）事業 1,440千円

新規

住宅用太陽光発電システム及びエコキュートの設置にかかる費用の一部を補助します。
また、環境性能に優れた電気自動車を公用車として2台導入（リース）することにより、環境にやさしいまちづくりを推進します。



市立病院に設置したソーラーパネル及びソーラー式LED外灯

大郷戸清掃センター跡地対策事業 99,675千円

大郷戸清掃センター跡地対策として、環境の保全を図る整備事業を行います。

小中学校耐震化整備・耐震診断事業

475,651千円

笠間小学校整備
 穴戸小学校整備
 岩間第三小学校体育館整備
 友部第二小学校耐震診断
 笠間中学校整備

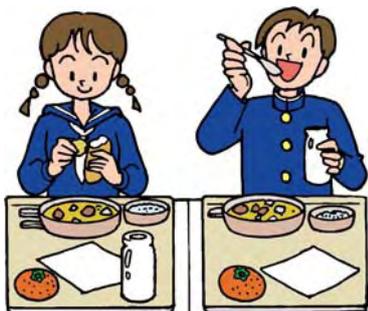


現在の笠間小学校

笠間小学校の校舎及び岩間第三小学校体育館の耐震補強工事を行います。穴戸小学校、友部第二小学校、笠間中学校については、耐震診断等を行います。

笠間学校給食センター基本調査設計事業 2,500千円

新規



現在の笠間学校給食センターは老朽化が進んでいるため、隣接する市有地に新しい給食センターの建設を予定しています。今年度は基本的な調査を行います。

寺子屋事業（学力向上事業）

1,739千円



子どもたちの活動や学びの機会づくり、学習の場づくりを推進するため、毎週土曜日の午前中に小学校5・6年生を対象とした学習指導を3地区の公民館において実施し、学力の向上、学習意欲の高揚を図ります。

図書館システムの統一 3,208千円



図書館システムのオンラインネットワーク化を実施することにより、3つの図書館の資料を1つの画面で検索可能にするなど、市民サービスの向上を図ります。

公共ホール音楽活動事業 138千円

新規

公共施設や福祉施設、さらには学校にアーティストを派遣して、市民や子どもたちが音楽を身近に接する機会を提供します。



新市史編さん事業 16,167千円

合併を契機として、旧市町の歴史をみんなが認識し、文化意識の向上を図るため「新笠間市史」の発刊を予定しています。



国指定重要文化財 塙家住宅

青年海外派遣事業 1,876千円



中国での工場見学

市内に在住又は通勤・通学している青年を海外に派遣し、訪問する国との交流や研修等を通じて視野を広め、地域において外国人とも共生できる人材の育成を図ります。

協働のまちづくり推進事業

協働のまちづくり推進指針の策定 139千円
 まちづくり市民活動助成 1,500千円

拡充



手作り絵本教室の開催

市民と行政の協働のあり方や目指すべき方向性の指針を策定します。

まちづくり市民活動助成金については，単年度事業から3カ年事業まで対象を広げることにより，市民活動や地域のコミュニティ活動の活性化を図ります。

第二次行財政改革大綱策定事業 278千円

新規



公開で行われた補助金等審査会

効果的・効率的な行政運営と歳出構造の改善を図るため，「第二次笠間市行財政改革大綱」を策定し，将来にわたって健全な行財政基盤の構築に努めます。



徴収対策強化事業

37,320千円

自主財源確保の重要性や税負担の公平性を確保するため，納付催促や訪問，財産調査，差押等の滞納処分を実施し，市税等の徴収率の向上を図ります。

IV 参考資料

1. 一般会計

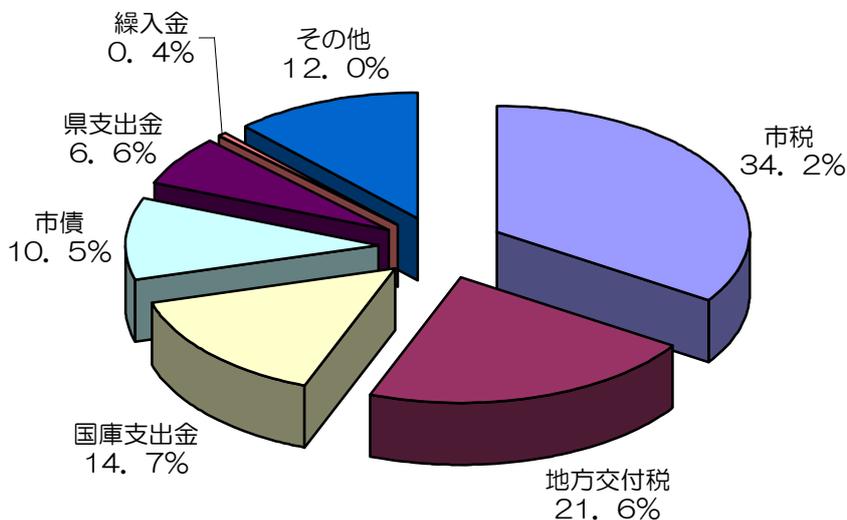
歳入

市税などの減収が見込まれる一方で、地方交付税の大幅な増額が見込まれることから、将来の財政負担を考慮し、財政調整基金や減債基金からの繰入金を計上しないこととしました。さらには、元利償還金の100%が地方交付税で算入となる臨時財政対策債と、同じく70%算入となる合併特例債を除いて、市債は計上しないこととしました。また、財源の有効活用のため、狭あい道路整備等促進事業補助金や地域住宅交付金、緊急雇用創出事業補助金など国県の補助制度を積極的に活用しました。

(単位：千円，%)

歳入	平成22年度		平成21年度		比較増減額	比較増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
市税	9,066,411	34.2	9,194,151	34.6	▲ 127,740	▲ 1.4
地方交付税	5,730,000	21.6	5,010,000	18.8	720,000	14.4
国庫支出金	3,912,385	14.7	2,910,557	11.0	1,001,828	34.4
市債	2,782,800	10.5	3,596,900	13.5	▲ 814,100	▲ 22.6
県支出金	1,764,985	6.6	1,553,948	5.8	211,037	13.6
繰入金	101,200	0.4	985,830	3.7	▲ 884,630	▲ 89.7
その他	3,182,219	12.0	3,350,614	12.6	▲ 168,395	▲ 5.0
歳入合計	26,540,000	100.0	26,602,000	100.0	▲ 62,000	▲ 0.2

歳入予算状況図



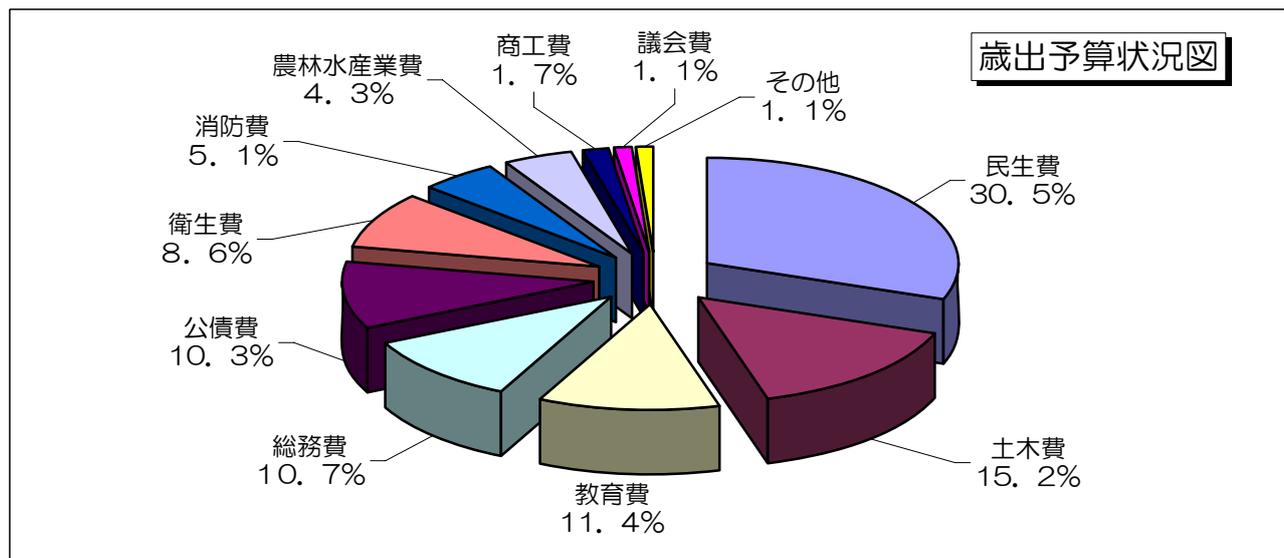
市税	市民税・固定資産税などの税金です。
地方交付税	自治体間の財源の不均衡を是正するため国から交付されます。
国庫支出金	国からのお金。生活保護や幹線道路整備など特定の事業に充てます。
市債	国や金融機関から借り入れるお金です。
県支出金	県からのお金です。統計調査や選挙、農地の整備など特定の事業に充てます。
繰入金	各種基金（預貯金）を取り崩して、特定の事業に充てます。
その他	各種使用料や前年度からの繰越金などです。

歳 出

幹線道路や駅周辺など都市基盤の整備を進める一方で、小中学校の耐震化・耐震診断なども引き続き進めます。また、新規事業として、地球温暖化対策事業である太陽光発電・エコキュート助成、子育て支援であるファミリーサポートセンターの設置、雇用対策である未就業者支援や中小企業の雇用安定支援事業などを計上しました。

(単位：千円，%)

歳 出	平成22年度		平成21年度		比較増減額	比較増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
民 生 費	8,084,417	30.5	6,989,453	26.3	1,094,964	15.7
土 木 費	4,041,152	15.2	4,599,949	17.3	▲ 558,797	▲ 12.1
教 育 費	3,039,969	11.4	3,709,586	13.9	▲ 669,617	▲ 18.1
総 務 費	2,832,728	10.7	2,659,924	10.0	172,804	6.5
公 債 費	2,738,823	10.3	2,726,418	10.2	12,405	0.5
衛 生 費	2,277,407	8.6	2,301,974	8.7	▲ 24,567	▲ 1.1
消 防 費	1,349,616	5.1	1,344,783	5.1	4,833	0.4
農 林 水 産 業 費	1,129,584	4.3	1,274,206	4.8	▲ 144,622	▲ 11.3
商 工 費	457,386	1.7	436,353	1.6	21,033	4.8
議 会 費	284,266	1.1	286,951	1.1	▲ 2,685	▲ 0.9
そ の 他	304,652	1.1	272,403	1.0	32,249	11.8
歳 出 合 計	26,540,000	100.0	26,602,000	100.0	▲ 62,000	▲ 0.2



民 生 費	社会福祉，児童福祉，生活保護などの経費です。
土 木 費	道路・公園などの整備・管理などの経費です。
教 育 費	学校・図書館などの経費，スポーツ大会などの経費です。
総 務 費	庁舎の維持管理，広報紙発行，選挙などの経費です。
公 債 費	借入金を返済する経費です。
衛 生 費	各種健診・予防接種，ごみ収集などの経費です。
消 防 費	火災や台風などの防災活動経費です。
農 林 水 産 業 費	農業や林業の振興のための経費です。
商 工 費	商工業の振興や観光事業を推進するための経費です。
議 会 費	議員報酬や議会の運営に関する経費です。
そ の 他	病院・水道事業への支出金，不測の事態に備えた予備費です。

2. 特別会計

(1) 国民健康保険特別会計

加入者の方々が病気やけがをした時に備えて、安心して治療を受けられるように、普段からお金を出し合い、お互いに助け合う国民健康保険制度のための会計です。



(単位：千円, %)

歳入予算額			7,913,700			歳出予算額			7,913,700		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比	歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比
国民健康保険税	2,367,834	29.9	保険給付費	5,125,879	64.8	国民健康保険税	2,367,834	29.9	保険給付費	5,125,879	64.8
国庫支出金	2,113,443	26.7	後期高齢者支援金等	1,031,666	13.0	国庫支出金	2,113,443	26.7	後期高齢者支援金等	1,031,666	13.0
前期高齢者交付金	1,356,637	17.2	共同事業拠出金	952,526	12.0	前期高齢者交付金	1,356,637	17.2	共同事業拠出金	952,526	12.0
共同事業交付金	907,163	11.5	介護納付金	526,728	6.7	共同事業交付金	907,163	11.5	介護納付金	526,728	6.7
繰入金	540,284	6.8	保健事業費	67,578	0.9	繰入金	540,284	6.8	保健事業費	67,578	0.9
県支出金	381,683	4.8	老人保健拠出金	3,678	0.0	県支出金	381,683	4.8	老人保健拠出金	3,678	0.0
療養給付費等交付金	199,461	2.5	その他	205,645	2.6	療養給付費等交付金	199,461	2.5	その他	205,645	2.6
その他	47,195	0.6				その他	47,195	0.6			

(2) 老人保健特別会計

後期高齢者医療制度への移行により平成20年度で老人保健法は廃止となりましたが、20年3月診療分までの支払い精算などを行うための会計です。

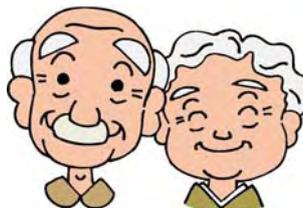


(単位：千円, %)

歳入予算額			7,600			歳出予算額			7,600		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比	歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比
支払基金交付金	4,369	57.5	医療諸費	7,442	97.9	支払基金交付金	4,369	57.5	医療諸費	7,442	97.9
国庫支出金	2,051	27.0	総務費	54	0.7	国庫支出金	2,051	27.0	総務費	54	0.7
繰入金	660	8.7	その他	104	1.4	繰入金	660	8.7	その他	104	1.4
県支出金	513	6.7				県支出金	513	6.7			
その他	7	0.1				その他	7	0.1			

(3) 後期高齢者医療特別会計

75歳以上の高齢者の暮らしに配慮した治療などが行われるような仕組みを導入し、在宅医療の充実や介護サービスとの連携強化など、高齢者の生活を支える医療のための会計です。



(単位：千円, %)

歳入予算額			638,000			歳出予算額			638,000		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比						
後期高齢者医療保険料	483,205	75.7	後期高齢者医療広域連合納付金	611,850	95.9						
繰入金	139,066	21.8	保健事業費	14,187	2.2						
その他	15,729	2.5	総務費	10,361	1.6						
			その他	1,602	0.3						

(4) 介護保険特別会計

40歳以上の国民が加入し、必要な介護サービスを利用した場合に保険給付を行う「介護保険」の制度運営するための会計です。要介護状態の軽減や悪化を防止する予防給付も行います。



(単位：千円, %)

歳入予算額			4,454,000			歳出予算額			4,454,000		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比						
支払基金交付金	1,251,070	28.1	保険給付費	4,144,820	93.1						
国庫支出金	998,183	22.4	総務費	216,177	4.8						
保険料	777,705	17.5	地域支援事業費	89,321	2.0						
繰入金	734,739	16.5	その他	3,682	0.1						
県支出金	689,732	15.5									
その他	2,571	0.0									

(5) 介護サービス事業特別会計

サービス収入（介護予防サービス計画費収入）により、ケアプランを作成するための会計です。



(単位：千円, %)

歳入予算額			27,400			歳出予算額			27,400		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比						
サービス収入	24,086	87.9	総務費	17,846	65.1						
繰入金	3,312	12.1	サービス事業費	9,055	33.1						
その他	2	0.0	その他	499	1.8						

(6) 公共下水道事業特別会計

公共下水道区域において、台所やトイレなどで流した生活雑排水をきれいにする公共下水道事業の会計です。

今年度は、各地区の管きょ工事のほか、笠間地区から圧送管で流れている笠間幹線の予備ルート調査設計を行い、岩間地区では高野前橋汚水中継ポンプ場が完成します。浄化センターともべでは、汚泥棟の増設工事を進めます。



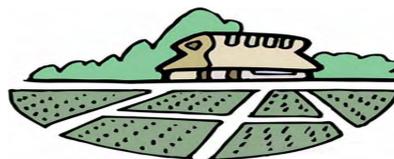
(単位：千円, %)

歳入予算額			2,523,200			歳出予算額			2,523,200		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比						
繰入金	1,004,151	39.8	公債費	1,405,856	55.7						
市債	731,700	29.0	下水道費	1,112,344	44.1						
使用料及び手数料	497,138	19.7	予備費	5,000	0.2						
国庫支出金	230,100	9.1									
分担金及び負担金	50,085	2.0									
その他	10,026	0.4									

(7) 農業集落排水事業特別会計

農業集落区域において、台所やトイレなどで流した生活雑排水をきれいにする農業集落排水事業の会計です。

今年度は、小原地区を中心とする友部北部Ⅰ期地区の管きょ工事を引き続き行います。



(単位：千円, %)

歳入予算額			875,100			歳出予算額			875,100		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比						
繰入金	300,011	34.3	農業集落排水事業費	635,344	72.6						
市債	254,000	29.0	公債費	238,756	27.3						
県支出金	239,414	27.4	予備費	1,000	0.1						
使用料及び手数料	57,631	6.6									
その他	24,044	2.7									

(8) 岩間駅東土地区画整理事業特別会計

平成21年度より新たに設置された特別会計です。岩間駅東地区の土地を有効活用するために、区画整理事業を行ないます。

今年度から、本格的に事業を行う予定です。



(単位：千円, %)

歳入予算額			119,800			歳出予算額			119,800		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比						
市債	82,200	68.6	土地区画整理事業費	119,539	99.8						
国庫支出金	19,800	16.5	予備費	261	0.2						
繰入金	17,800	14.9									

3. 企業会計

企業会計予算状況

地方公営企業法を適用して市が経営している事業は、市立病院事業、水道事業と工業用水道事業です。

市立病院事業会計は、市民の病院として、地域医療を進めるための会計です。

水道事業会計は、安全な飲料水をみなさんの家庭に供給するための会計です。

工業用水道事業会計は、岩間工業団地へ工業用水を供給するための会計です。



会計名	科目	予 定 額	業 務 の 予 定 量	
市立病院事業会計	収益的支出 資本的支出 計	千円	病 床 数	30 床
		533,000	年間患者数	入院 5,110 人 外来 26,038 人
水道事業会計 *	収益的支出 資本的支出 計	1,762,400	給 水 戸 数	23,791 戸
		666,800	年間総給水量	7,017,885 m ³
工業用水道事業会計	収益的支出 資本的支出 計	27,400	給 水 件 数	4 件
		4,500	年間総給水量	208,086 m ³
計	収益的支出 資本的支出 計	545,900	1日平均患者数	入院 14 人 外来 88 人
		2,322,800	1日平均給水量	19,227 m ³
		31,900	年間総給水量	208,086 m ³
		3,007,000	1日平均給水量	570 m ³

* 21年度まで旧3地区で進めてきた水道事業は、22年度から一本化されました。

4. 市債の状況

平成22年度の借入れ額は、一般会計、特別会計及び企業会計を合わせて、39億1千70万円を予定しています。

一般会計では、幹線道路の整備や岩間駅周辺整備事業、小中学校施設整備事業等に対する合併特例債の借入を12億8千280万円、臨時財政対策債の借入を15億円予定しています。

(単位：千円)

区 分	平成20年度末 現 在 高	平成21年度末 現在高見込額	平成22年度 借入予定額	平成22年度 元金償還予定額	平成22年度末 現在高見込額
一 般 会 計	25,284,362	26,704,942	2,782,800	2,278,224	27,209,518
公共下水道事業 特別会計	18,072,705	17,967,386	731,700	995,255	17,703,831
農業集落排水事業 特別会計	4,427,100	4,279,003	254,000	157,393	4,375,610
岩間駅東土地区画 整理事業特別会計	—	—	82,200	0	82,200
市立病院事業会計	67,060	58,683	0	2,599	56,084
水道事業会計	5,235,594	4,970,984	60,000	309,359	4,721,625
合 計	53,086,821	53,980,998	3,910,700	3,742,830	54,148,868

ちなみに、平成20年度末の笠間市の実質公債費率は13.7%です。県内市町村の平均は12.8%、全国市町村平均は11.8%となっております。



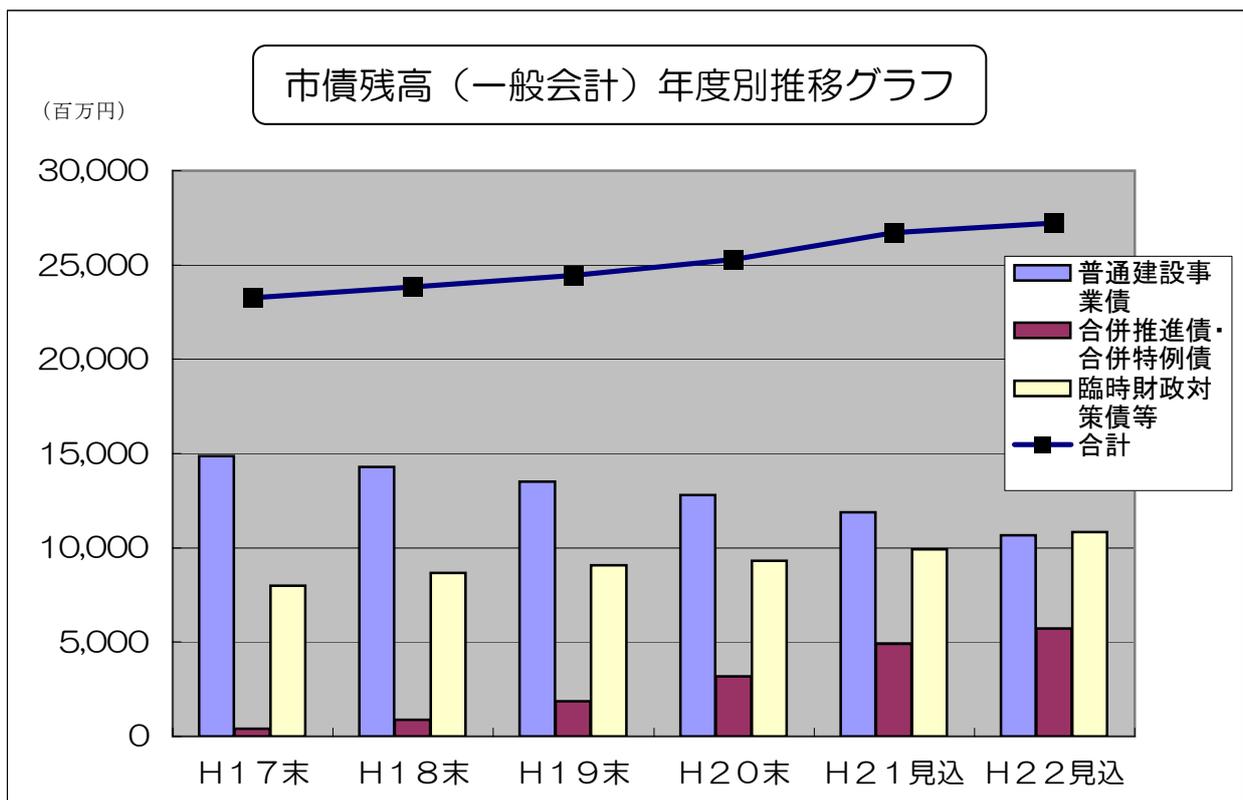
一般会計市債残高の年度別推移

(単位：百万円)

起債名	H17末	H18末	H19末	H20末	H21見込	H22見込
普通建設事業債	14,866	14,281	13,516	12,796	11,877	10,653
合併推進債・合併特例債	406	885	1,869	3,190	4,916	5,735
臨時財政対策債等	7,994	8,661	9,060	9,299	9,912	10,822
合計	23,266	23,827	24,445	25,285	26,705	27,210

※H17は合併推進債，H18以降は合併特例債

☆臨時財政特例債・・・償還時に元金・利息の全額が地方交付税措置
 ☆合併特例債・・・償還時に元金・利息の70%が地方交付税措置



財政指標	笠間市	県内44市町村平均	備考
地方債現在高比率 (H20年度末)	% 147.7	% 146.2	将来、償還すべき地方債（市債）現在高の標準財政規模に対する割合です。 地方債に関する指標は、起債制限比率など他の指標においても、他市町村と比較してほぼ同じ数値となっています。

※標準財政規模・・・笠間市が標準的な状態で通常収入されるであろう經常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税を加算した額

5. 基金の状況（一般・特別会計）

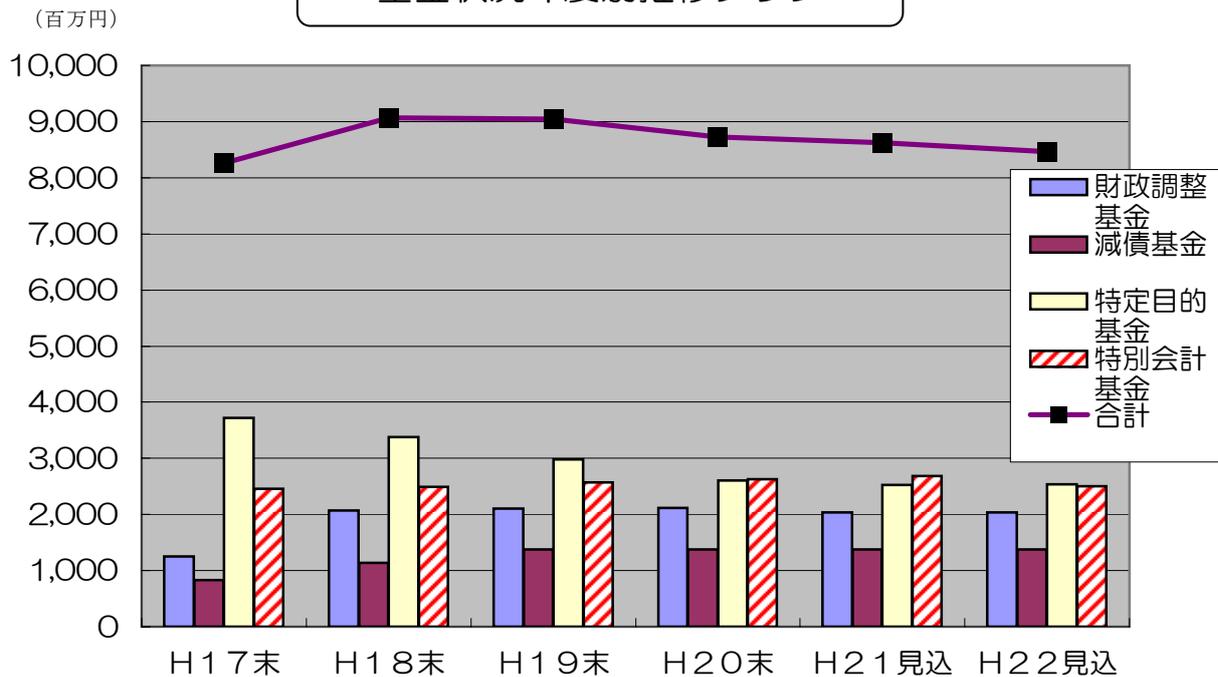
基金残高の年度別推移

（単位：百万円）

起債名	H17末	H18末	H19末	H20末	H21見込	H22見込
財政調整基金	1,255	2,067	2,109	2,112	2,035	2,037
減債基金	834	1,134	1,378	1,381	1,382	1,382
特定目的基金	3,720	3,382	2,986	2,602	2,523	2,540
特別会計基金	2,454	2,488	2,570	2,633	2,685	2,502
合計	8,263	9,071	9,043	8,728	8,625	8,461

- ☆財政調整基金・・・年度間の財源の不均衡を調整するために設けられた基金
- ☆減債基金・・・地方債の償還を年度を越えて計画的に行うために設けられた基金
- ☆特定目的基金・・・農業活性化対策基金や義務教育施設整備基金など特定の目的により設けられた基金

基金状況年度別推移グラフ



財政指標	笠間市	県内44市町村平均	備考
積立金現在高比率 (H20年度末)	36.2%	31.9%	積立金（基金）残高の標準財政規模に対する割合です。 積立金については、他市町村平均と比較しても多いほうです。

元気かさま応援基金の概要（笠間市ふるさとづくり寄附金）

笠間市は、歴史と文化の薫る豊かな地域資源や広域交通の優位性を生かした独自のまちづくりを推進しています。

これらをさらに推進していくため、「元気かさま応援基金」をつくり、笠間市を応援して下さる方々からの寄附金を積み立て、寄附の目的に沿った事業に活用します。

平成21年度の寄附金は、平成22年3月1日現在 **17件で395万2千円**です。この寄附金は平成22年度において、下記の事業で有効に活用します。

【元気かさま応援基金を充てる事業】

（単位：千円）

事業の区分	充当事業名等	充当額	担当課
まちづくり支援事業	まちづくり市民活動助成金	200	市民活動課
子ども支援事業	青年海外派遣事業	1,876	市民活動課
	かさま健康ダイヤル24事業	552	健康増進課
芸術・文化支援事業	高齢者芸術鑑賞事業	1,200	生涯学習課
	クールシュヴェール事業	500	生涯学習課

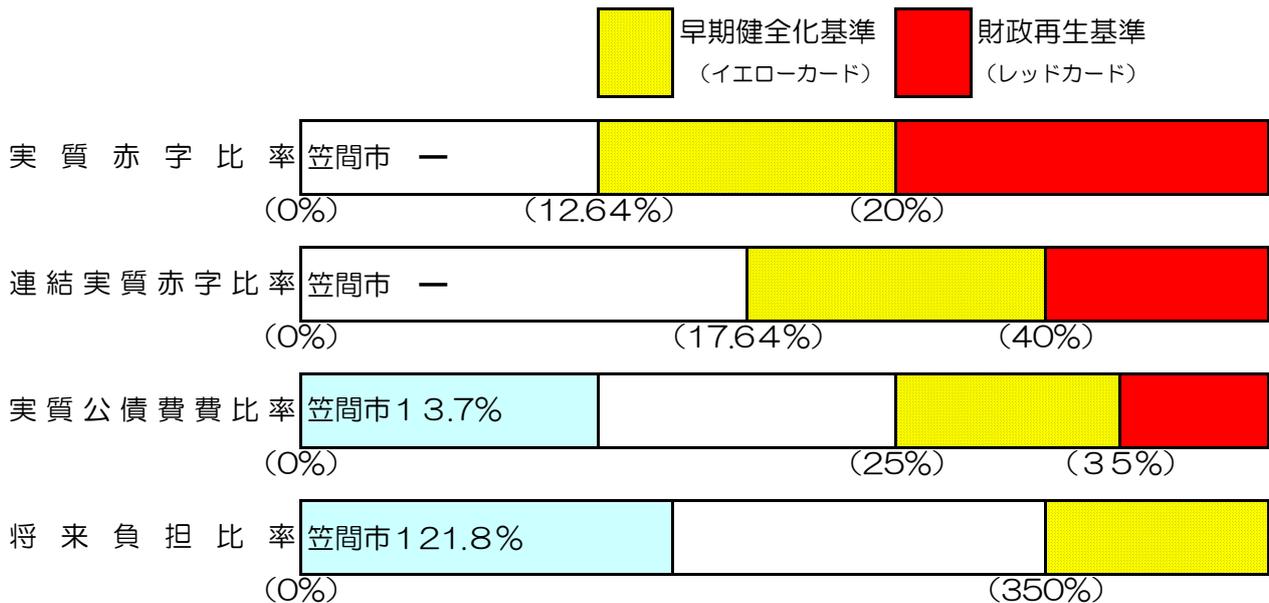
		
クールシュヴェール （演奏会）	青年海外派遣事業 （中国の工場研修）	まちづくり支援事業 （ハイキング道の整備）

6 財政関連の数値

財政健全化判断比率

財政健全化判断比率は、「早期健全化」と「財政再生」の2段階で財政悪化をチェックするとともに、特別会計も併せた連結決算により、地方公共団体の財政状況をより明らかにするものです。

平成20年度決算における財政健全化判断比率は、以下のとおりです。なお、笠間市の財政状況は、すべての数値で基準を下回っております。



財政の健全度を判断するには、4つの指標で判断します。

(1) 実質赤字比率

普通会計（一般会計）の赤字の程度を指標化し、財政経営の悪化の度合いを示すものです。

(2) 連結実質赤字比率

全会計（一般会計や国民健康保険、介護保険、公共下水道事業、水道事業などの特別会計）の赤字や黒字を合算し、市全体としての財政経営の悪化の度合いを示すものです。

(3) 実質公債費比率（3ヵ年平均）

借入金（地方債）の返済額及びこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。

(4) 将来負担比率

一般会計等の借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。

わたしたち笠間市民のねがい ー笠間市民憲章ー

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう
歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう
思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう
きまりを守り、安心してやすらぎのあるまちにしよう

平成22年度「わかりやすいかさまの予算」

平成22年4月発行

編集・発行 笠間市総務部財政課

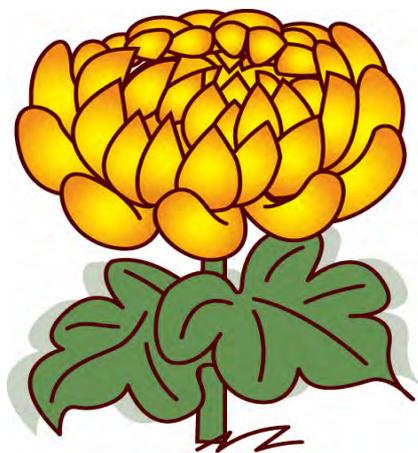
〒309-1792

笠間市中央三丁目2番1号

TEL 0296-77-1101

URL www.city.kasama.lg.jp

笠間市の花・木・鳥



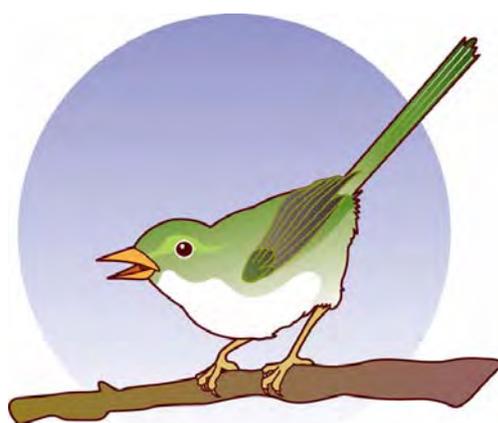
きく



笠間市
KASAMA



さくら



うぐいす

このイラストは、笠間市民憲章推進協議会主催による『市の花・木・鳥イラスト募集』において最優秀賞に選ばれた作品です。